

長野県 秋山(9月～11月)情報

目次

- 1 安全に秋山を楽しむために、これだけは知っておこう！！
- 2 秋山の遭難事例(平成29年9月～11月)
- 3 救助活動中のヘリコプターにご注意
- 4 ヘルメットを着用しましょう！
- 5 きのご採りで入山される皆さんへ
- 6 信州 山のグレーディング

1 安全に秋山を楽しむために、これだけは知っておこう！！

◎ 60歳以上の高齢者による遭難が多発！

昨年の9月から11月の3か月間に山岳遭難は70件発生し、遭難者75人のうち、60歳以上の高年齢層は43人で遭難者の約6割（57.3%）を占めています。

◎ 体力と技術に見合った山を選びましょう！

「昔、登れたコースだから大丈夫だろう」と、自分の体力や経験を過信した結果、転倒や、疲労により行動不能となるケースが見られます。

長野県山岳遭難防止対策協会で作成した「信州山のグレーディング」を参考にするなど、体力と技術に見合った山を選びましょう。

◎ 天気の急変、降雪に要注意！

秋山は夏山と違い、昼間暖かくても、夜は気温が氷点下となることもあり、北アルプスなどの高山では氷が張ったり、雨が雪に変わることも珍しくありません。

低体温症の危険性が高まるため、悪天候が予想される場合は行動を控えるとともに、必ず防寒対策をしましょう。

◎ 山小屋の開設期間の確認を！

9月下旬から、山小屋の営業が終了するところが多くあります。

山小屋に到着したら、「営業が終了していて泊まれなかった」ということがないように、登山を計画する段階で、宿泊する山小屋の開設期間を確認しましょう。

また、水場が涸れている場合があるので飲料水の確保も必要です。

◎ 長野県では条例で登山計画書の提出が義務付けられています！

平成28年7月から、長野県内の指定登山道を登山する場合は、長野県知事宛に「登山計画書」の提出が義務付けられています。提出の方法は、専用のインターネットサイト、FAX、電子申請、登山口ポストがあります。詳しくは、長野県山岳高原観光課までお問い合わせ下さい。（026-235-7251）

また、作成した登山計画書は、家族や友人にも渡しておきましょう。

◎ きのこ採り遭難は複数人で入山を！

昨年の9月から11月の間、きのこ採りでの遭難は11件発生し、遭難者12人のうち、3人が死亡、3人が負傷しています。

遭難者12人は、全て60歳以上の高年齢層です。

また、道迷いによる遭難が多発していますので、複数人で入山し、お互いに目が届く範囲内で行動するとともに、必ず、携帯電話を携帯しましょう。

2 秋山の遭難事例

態様別発生状況 (平成29年9月～11月)

区分 態様別	発生 件数	遭難者				計
		死者	不明	負傷	救出	
転・滑落、転倒	36	8		28		36
道迷い	15				19	19
病気	7	3			4	7
疲労・凍死傷	9	1			8	9
落石・落雷						0
その他・不明	3	3		1		4
合計	70	15	0	29	31	75

9/2(土) 奥穂高岳
ザイテングラートを下山中、何らかの原因により滑落、死亡
[東京都 40代 男性]

10/4(水) 洞沢
山小屋周辺の石階段で、つまづいて転倒、負傷
[愛知県 60代 女性]

10/14(土) 中央アルプス 経ヶ岳
経ヶ岳に向けて登山中、発病、死亡
[愛知県 44代 男性 単独]

11/22(水) 戸隠山
西岳から一不動に向けて縦走中、低体温症により、死亡
[神奈川県 50代 女性 単独]

9/20(水) 北アルプス 五竜岳
五竜山荘に向けて下山中、岩場で転倒、負傷
[岐阜県 70代 女性]

10/11(水) 八ヶ岳連峰 蓼科山
宿泊中の山小屋で発病、死亡
[埼玉県 70代 男性]

9/15(金) 南アルプス 仙丈ヶ岳
仙丈ヶ岳に向けて登山中、発病、死亡
[岐阜県 60代 男性 単独]

キノコ採りによる遭難にも注意!!
死者 3人

過去5年間の秋山遭難事故発生状況

区分 年別	発生 件数	遭難者				計
		死者	不明者	負傷	救出	
平成25年	99	18	4	50	28	100
平成26年	83	16	2	49	17	84
平成27年	68	19	3	28	22	72
平成28年	64	17	2	34	18	71
平成29年	70	15	0	29	31	75

3 救助活動中のヘリコプターにご注意！

- ・ 長野県で発生する山岳遭難のうち、およそ8割はヘリコプターによる救助活動であり、その割合は年々増加傾向にあります。
- ・ 救助活動中のヘリコプターは対地高度数十メートルで空中停止(ホバリング)し、ホイストと呼ばれる救助用ウインチを使い、救助隊員が遭難現場へ降下します。
その際、ヘリコプターからは**強烈な吹き下ろし風**が発生しています。
- ・ ヘリコプターからの吹き下ろし風は、地形や地上風の影響により、その範囲は最大100メートルに達します。
- ・ 吹き下ろし風により、砂塵が発生したり小石等が飛散する場合があります。
また、吹き下ろし風を受けて滑落する危険性がありますので、**救助活動中のヘリコプターには近づかないでください。**

救助活動中のヘリに遭遇したら

- ・ 救助現場には近づかず、安定した場所で待機する。
- ・ 吹き下ろし風により、飛ばされるおそれのあるものを押さえる。
- ・ 周囲の登山者に注意を呼びかける。



強烈な吹き下ろし風で顔を伏せる遭難者

4 ヘルメットを着用しましょう！

長野県遭対協では、ヘルメット着用奨励山域を設定しています！

長野県内で発生する山岳遭難の約半数は、転滑落や転倒によるものです。転滑落・転倒事故は重傷事例が多く、例年、死亡事故の半数以上が転滑落・転倒事故です。一方で、滑落や転倒した登山者がヘルメットを着用していたため、致命傷を免れた好事例もありました。

長野県遭対協では、転滑落・転倒事故の多い山域を「山岳ヘルメット着用奨励山域」に指定して、ヘルメットの着用を促し、「自分の命は自分で守る」ことを呼びかけています。

ヘルメット着用推奨山域

山 域 名	指 定 す る 山 域
北アルプス南部	槍・穂高連峰のうち、北穂高岳から涸沢岳・屏風岩、前穂高岳(北尾根から吊尾根)一帯、西穂高岳から奥穂高岳、北穂高岳から南岳(大キレット)、北鎌尾根・東鎌尾根の区域
北アルプス北部	不帰の嶮周辺、八峰キレット周辺
南アルプス	甲斐駒ヶ岳、鋸岳
中央アルプス	宝剣岳
戸隠連峰	戸隠山、西岳

実際に遭難者が被っていたヘルメット



内側も割れている

もし、ヘルメットを被っていなかったら・・・

5 きのご採りで入山される皆さんへ



本格的なきのご採りのシーズンを迎えると、例年、山中で道に迷ったり、急斜面から滑落したり、また熊などの動物に襲われるといった遭難が後を絶ちません。

きのご採りで入山される皆さんは、遭難防止のために、次のことに注意して下さい。

- 1 入山場所と行動予定は必ず家族等に伝えましょう。

家族から搜索願が出されても、搜索場所が分からなければ搜索が非常に困難となることから、家族には、入山場所と行動予定を必ず伝えてから入山しましょう。

- 2 非常時に備え、携帯電話や雨具は持って行きましょう。

携帯電話は、非常時の重要な救助要請の手段となり、雨具は雨よけだけでなく防寒衣にもなりますので、必ず携行して入山しましょう。

- 3 急斜面での滑落に注意しましょう。

年齢を重ねるごとに、筋力やバランス力は低下しており、急斜面等で滑落する危険性が高まります。

慣れている場所であっても足元に十分注意し、危険な斜面への立入りは避けましょう。

- 4 単独での入山は避けましょう。

単独での入山は、方向を見失い下山できなくなったり、万が一遭難した場合に救助の要請ができない場合があるので、できるだけ複数で入山しましょう。

- 5 熊などの野生動物に注意しましょう。

山中で、熊や猪等に遭遇し、襲われて負傷することがあります。

野生動物からの危害防止のために、鈴やラジオ等音の出るものを携行し、自分の存在を知らせることが被害防止につながります。



信州 山のグレイディング

～無雪期・天気良好時の「登山ルート別 難易度評価」～

長野県内の一般的な登山ルート（123ルート）を、体力度と登山道の技術的難易度で評価しました。

	A	B	C	D	E
2泊以上が適当			● 園裏銀座（高瀬ダム・上高地） ● 園表銀座（中房温泉・上高地）	● 園聖岳→赤石岳（聖光小屋・榎島） < 苑岳・大沢岳・小赤石岳往復 > ● 園塩見岳→北岳（鳥倉・広河原） ● 園荒川岳（前岳）→ 荒川岳（東岳）（鳥倉・榎島）	● 園大キレット（上高地） < 北穂→槍 >
1泊以上が適当	● 園双子山・大岳・北横岳・楨枯山・ 茶臼山（大河原峠）	● 木曾駒ヶ岳（伊那スキーリゾート） ● 園金峰山・甲武信ヶ岳 （廻り目平・毛木平）< 十文字峠 > ● 真砂岳（高瀬ダム）< 湯俣 > ● 園燕→常念（中房温泉・一ノ沢） ● 園鳴沢岳・スバリ岳・ 針ノ木岳（扇沢） ● 鹿島槍ヶ岳（扇沢） ● 園蝶ヶ岳・常念 （上高地・一ノ沢）< 長尾根 > ● 船窪岳（七倉） ● 光岳（易老渡） ● 茶臼岳（易老渡） ● 船窪岳（七倉） ● 北碓岳（七倉） ● 園蝶ヶ岳・常念（三股・一ノ沢） ● 木曾駒ヶ岳（桂小場） ● 木曾駒ヶ岳（コガラ） < 木曾福島B >	● 園将棋頭→空木 （桂小場・駒ヶ根高原） ● 園白馬→朝日（猿倉・蓮華温泉） ● 槍ヶ岳（上高地） ● 奥穂高岳（上高地）< 濁沢 > ● 園鹿島・爺（大谷原・扇沢） ● 聖岳（聖光小屋） ● 鹿島槍ヶ岳（大谷原） ● 鐘ヶ岳（猿倉）< 鐘温泉 > ● 園木曾駒→空木 （千畳敷・駒ヶ根高原） ● 空木岳（駒ヶ根高原） ● 木曾駒ヶ岳（アルプス山荘） < 上松A > ● 露沢岳（上高地） ● 横岳（榎子湯） ● 佐武流山（ドロノ木平） ● 園唐松・五竜 （八方池山荘・アルプス平駅） ● 熊鬼岳（白沢登山口） ● 五竜岳（アルプス平駅） ● 白馬岳（猿倉） ● 園赤岳・横岳・碓黄（美濃戸） ● 鳥帽子岳（高瀬ダム） < フナ立尾根 > ● 天狗岳（本沢温泉） ● 赤岳（杣添登山口） ● 阿弥陀岳（舟山十字路） ● 赤岳（美濃戸） < 北沢・地藏尾根 > ● 権現岳（観音平）	● 園空木→越百（今朝沢橋） ● 園八峰キレット （アルプス平駅・大谷原） ● 塩見岳（鳥倉） ● 北穂高岳（上高地）< 濁沢 > ● 園不帰キレット （猿倉・八方池山荘） ● 南駒ヶ岳（今朝沢橋） ● 西穂高岳（上高地） ● 園権現→赤岳（観音平・美濃戸）	● 園穂高縦走（上高地） < 北穂→前穂 >
1泊以上が適当	● 終ヶ岳（仲仙寺）	● 常念岳（三股） ● 白馬岳（樽池） ● 濁沢（上高地） ● 碓黄岳（表草峠） ● 前掛山（浅間登山口）※1 ※3 ● 蓮華岳（扇沢） ● 常念岳（一ノ沢） ● 針ノ木岳（扇沢） ● 園甲武信ヶ岳（毛木平） < 甲武信ヶ岳→十文字峠 > ● 爺ヶ岳（扇沢） ● 碓黄岳（本沢温泉） ● 前掛山（車坂峠）※1 ※3 ● 小蓮華岳（樽池） ● 燕岳（中房温泉） ● 園乗鞍岳（鈴蘭橋・雲平） ● 園茶臼山（しらびそ峠）※1 ● 蝶ヶ岳（三股） ● 碓黄岳（美濃戸）< 北沢 > ● 四阿山（峰の原） ● 四阿山（菅平牧場）< 根子岳 > ● 四阿山（鳥居峠） ● 黒姫山（大橋登山口） ● 恵那山（峰越林道ゲート） < 広河原登山口 >	● 金山（金山登山口） ● 赤岳（美濃戸）< 南沢・文三郎 > ● 仙丈ヶ岳（北沢峠）※2 ● 阿弥陀岳（美濃戸）< 南沢 > ● 甲斐駒ヶ岳（北沢峠）※2 ● 雨師山（小谷温泉） ● 有明山（中房）	● 前穂高岳（上高地） < 重太郎新道 > ● 高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 園高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 赤岳（泉登登山口） ● 園鳥甲山（ムジナ平・屋敷）	● 前穂高岳（上高地） < 重太郎新道 > ● 高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 園高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 赤岳（泉登登山口） ● 園鳥甲山（ムジナ平・屋敷）
1泊以上が適当	● 園霧ヶ峰（八島温泉） < 鷲ヶ峰→蝶々深山・車山肩 >	● 常念岳（三股） ● 白馬岳（樽池） ● 濁沢（上高地） ● 碓黄岳（表草峠） ● 前掛山（浅間登山口）※1 ※3 ● 蓮華岳（扇沢） ● 常念岳（一ノ沢） ● 針ノ木岳（扇沢） ● 園甲武信ヶ岳（毛木平） < 甲武信ヶ岳→十文字峠 > ● 爺ヶ岳（扇沢） ● 碓黄岳（本沢温泉） ● 前掛山（車坂峠）※1 ※3 ● 小蓮華岳（樽池） ● 燕岳（中房温泉） ● 園乗鞍岳（鈴蘭橋・雲平） ● 園茶臼山（しらびそ峠）※1 ● 蝶ヶ岳（三股） ● 碓黄岳（美濃戸）< 北沢 > ● 四阿山（峰の原） ● 四阿山（菅平牧場）< 根子岳 > ● 四阿山（鳥居峠） ● 黒姫山（大橋登山口） ● 恵那山（峰越林道ゲート） < 広河原登山口 >	● 金山（金山登山口） ● 赤岳（美濃戸）< 南沢・文三郎 > ● 仙丈ヶ岳（北沢峠）※2 ● 阿弥陀岳（美濃戸）< 南沢 > ● 甲斐駒ヶ岳（北沢峠）※2 ● 雨師山（小谷温泉） ● 有明山（中房）	● 前穂高岳（上高地） < 重太郎新道 > ● 高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 園高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 赤岳（泉登登山口） ● 園鳥甲山（ムジナ平・屋敷）	● 前穂高岳（上高地） < 重太郎新道 > ● 高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 園高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 赤岳（泉登登山口） ● 園鳥甲山（ムジナ平・屋敷）
日帰り可能	● 園霧ヶ峰（八島温泉） < 鷲ヶ峰→蝶々深山・車山肩 >	● 常念岳（三股） ● 白馬岳（樽池） ● 濁沢（上高地） ● 碓黄岳（表草峠） ● 前掛山（浅間登山口）※1 ※3 ● 蓮華岳（扇沢） ● 常念岳（一ノ沢） ● 針ノ木岳（扇沢） ● 園甲武信ヶ岳（毛木平） < 甲武信ヶ岳→十文字峠 > ● 爺ヶ岳（扇沢） ● 碓黄岳（本沢温泉） ● 前掛山（車坂峠）※1 ※3 ● 小蓮華岳（樽池） ● 燕岳（中房温泉） ● 園乗鞍岳（鈴蘭橋・雲平） ● 園茶臼山（しらびそ峠）※1 ● 蝶ヶ岳（三股） ● 碓黄岳（美濃戸）< 北沢 > ● 四阿山（峰の原） ● 四阿山（菅平牧場）< 根子岳 > ● 四阿山（鳥居峠） ● 黒姫山（大橋登山口） ● 恵那山（峰越林道ゲート） < 広河原登山口 >	● 金山（金山登山口） ● 赤岳（美濃戸）< 南沢・文三郎 > ● 仙丈ヶ岳（北沢峠）※2 ● 阿弥陀岳（美濃戸）< 南沢 > ● 甲斐駒ヶ岳（北沢峠）※2 ● 雨師山（小谷温泉） ● 有明山（中房）	● 前穂高岳（上高地） < 重太郎新道 > ● 高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 園高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 赤岳（泉登登山口） ● 園鳥甲山（ムジナ平・屋敷）	● 前穂高岳（上高地） < 重太郎新道 > ● 高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 園高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 赤岳（泉登登山口） ● 園鳥甲山（ムジナ平・屋敷）
2	● 根子岳（菅平牧場） ● 鳥帽子岳（地藏峠） ● 高尾山（表参道） ● 黒斑山（車坂峠）※3 ● 園荒船山（荒船不動） < 麓岩往復 >	● 岩菅山（岩菅山登山口） ● 唐松岳（八方池山荘） ● 金峰山（廻り目平） ● 天狗岳（洪ノ湯） ● 苗場山（小赤沢三合目） ● 風吹岳（風吹登山口） ● 天狗岳（唐沢温泉）< 西尾根 > ● 三ノ沢岳（千畳敷） ● 白馬大池（樽池） ● 御嶽山（田の原）※3 ● 碓黄岳（桜平） ● 御嶽山（飯森高原駅）※3 ● 焼岳（新中ノ湯登山口）※3 ● 飯綱山（一ノ鳥居死地） ● 蓼科山（女神茶屋） ● 園美ヶ原（三城牧場） < ダテ河原→塩くれ場・広小場 > ● 白馬乗鞍岳（樽池） ● 御座山（栗生登山口） ● 根子岳（峰の原） ● 蓼科山（七合目登山口） ● 蓼科山（大河原峠） ● 木曾駒ヶ岳（千畳敷）	● 金山（金山登山口） ● 赤岳（美濃戸）< 南沢・文三郎 > ● 仙丈ヶ岳（北沢峠）※2 ● 阿弥陀岳（美濃戸）< 南沢 > ● 甲斐駒ヶ岳（北沢峠）※2 ● 雨師山（小谷温泉） ● 有明山（中房）	● 前穂高岳（上高地） < 重太郎新道 > ● 高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 園高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 赤岳（泉登登山口） ● 園鳥甲山（ムジナ平・屋敷）	● 前穂高岳（上高地） < 重太郎新道 > ● 高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 園高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 赤岳（泉登登山口） ● 園鳥甲山（ムジナ平・屋敷）
2	● 高尾山（琵琶滝）	● 根子岳（菅平牧場） ● 鳥帽子岳（地藏峠） ● 高尾山（表参道） ● 黒斑山（車坂峠）※3 ● 園荒船山（荒船不動） < 麓岩往復 >	● 金山（金山登山口） ● 赤岳（美濃戸）< 南沢・文三郎 > ● 仙丈ヶ岳（北沢峠）※2 ● 阿弥陀岳（美濃戸）< 南沢 > ● 甲斐駒ヶ岳（北沢峠）※2 ● 雨師山（小谷温泉） ● 有明山（中房）	● 前穂高岳（上高地） < 重太郎新道 > ● 高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 園高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 赤岳（泉登登山口） ● 園鳥甲山（ムジナ平・屋敷）	● 前穂高岳（上高地） < 重太郎新道 > ● 高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 園高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 赤岳（泉登登山口） ● 園鳥甲山（ムジナ平・屋敷）
1	● 湯ノ丸山（地藏峠） ● 大渚山（湯峠） ● 北横岳（ロープウェイ）	● 湯ノ丸山（地藏峠） ● 大渚山（湯峠） ● 北横岳（ロープウェイ）	● 金山（金山登山口） ● 赤岳（美濃戸）< 南沢・文三郎 > ● 仙丈ヶ岳（北沢峠）※2 ● 阿弥陀岳（美濃戸）< 南沢 > ● 甲斐駒ヶ岳（北沢峠）※2 ● 雨師山（小谷温泉） ● 有明山（中房）	● 前穂高岳（上高地） < 重太郎新道 > ● 高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 園高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 赤岳（泉登登山口） ● 園鳥甲山（ムジナ平・屋敷）	● 前穂高岳（上高地） < 重太郎新道 > ● 高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 園高妻山（戸隠キャンプ場）※1 ● 赤岳（泉登登山口） ● 園鳥甲山（ムジナ平・屋敷）

自分に合った山選びを！



(C)2005 石塚真一/小学館
長野県山岳総合センター
特任講師 島崎三歩

技術的難易度
右になるほど難易度が増す

【凡例】
● 北アルプス ● 南アルプス ● 中央アルプス
● 八ヶ岳 ● その他の山域 ● 県外の山
() 登山口
<> 山名と登山口だけでは経路が特定できない場合の経由地
■ 入山口と下山口が異なる縦走ルート
→ 縦走の順
○ 入山口と下山口は同じだが途中の経路が異なる周回ルート

	A	B	C	D	E
登山道	◇概ね整備済 ◇転んだ場合でも転落・滑落の可能性は低い。 ◇道迷いの心配は少ない。	◇沢、崖、場所により雪渓などを通過 ◇急な登下降がある。 ◇道が分かりにくい所がある。 ◇転んだ場合の転落・滑落事故につながる場所がある。	◇ハシゴ・くさり場、また、場所により雪渓や渡渉箇所がある。 ◇ミスをするると転落・滑落などの事故になる場所がある。 ◇案内標識が不十分な箇所も含まれる。	◇厳しい岩稜や不安定なガレ場、ハシゴ・くさり場、敷漕ぎを必要とする箇所、場所により雪深や渡渉箇所がある。 ◇手を使う急な登下降がある。 ◇ハシゴ・くさり場や案内標識などの人工的な補助は限定的で、転落・滑落の危険箇所が多い。	◇緊張を強いられる厳しい岩稜の登下降が続く、転落・滑落の危険箇所が連続する。 ◇深い敷漕ぎを必要とする箇所が連続する場所がある。
技術・能力	◇登山の装備が必要 【用語説明】 ○ 地図読み能力 「地図を見て自分の位置を知ることができ、目的地へのルートを識別できる能力」 ○ ルートファインディング 「登山道のついていないところ、また分かりづらいところで、一番安全に通過できるルートを識別すること」 ○ 敷漕ぎ 「笹や低木などが密生する藪を手でかき分けながら進むこと」	◇登山経験が必要 ◇地図読み能力があることが望ましい。	◇地図読み能力、ハシゴ・くさり場などを通過できる身体能力が必要	◇地図読み能力、岩場、雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要 ◇ルートファインディングの技術が必要	◇地図読み能力、岩場、雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要 ◇ルートファインディングの技術、高度な判断力が必要 ◇登山者によってはロープを使わないと危険な場所もある

(注) ※1 当該ルートは体力度4（1泊以上が適当）ですが、ルート中に宿泊できる小屋やテント場がありませんので、登山者によっては日没までに下山できなくなる恐れがありますのでご注意ください。
※2 当該ルートは体力度3（日帰り可能）ですが、登山口までのアクセスに時間を要するため、日帰りが困難な場合があります。宿泊を前提にした計画をお勧めします。
※3 当該ルートは火山またはその周辺の山です。登山前に火山情報を確認しその指示にしたがってください。

<使用上の注意>
1 この表は、無雪期・天気良好の条件のもと、ルート固有の地形的な特徴について体力度と難易度を評価したものです。実際の登山では、体力度、難易度以外に悪天候、残雪、体調、その他偶発的な要因による様々なリスクがあるので、それらにも配慮した計画を立てることが必要です。
2 多くの登山者が利用する一般的な登山ルートにあたらぬ特条件の厳しい登山ルートは評価の対象としませんでした。
【例】西穂高岳→奥穂高岳（北アルプス） 北鎌尾根（北アルプス） 銀岳（南アルプス） 赤石岳（南アルプス） など
3 地震や崩落、雪崩などにより、登山道の通行規制や付け替えがありますので、登山の際には、事前に山小屋や近くの警察署などに登山道の状況等を確認することを勧めます。

